

事務事業名	7689 河川将来像事業													
担当組織	水安全部					河川課					担当	管理担当		
組織コード	R3	91	05	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	03	01	02	98	記入日	令和 3年 6月 7日
	R2	20	09	00		R2	01	08	03	01	02	02		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	04	緑と潤いのあるまち									○ 対象 ● 対象外		
分野	02	公園・水辺											
施策	41	水辺環境の整備											
事業期間	平成8年度～令和2年度												
根拠法令 通達等						関連計画 施政方針	笹目川とことん活用連絡会 荒川クリーンエイド 戸田市第4次総合振興計画（後期）						
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民												
事業目的	水辺に親しめるより良い河川環境にしていくため、市民、関係団体、国、県、市が連携し、継続的に川を利用するイベントや清掃活動を開催していく。これらの活動を通じ、河川への愛着や興味関心が生まれ、更に河川の環境美化意識が深まり、より良い河川環境を創出することを目的とする。												
事業内容	笹目川とことん活用連絡会、荒川クリーンエイドについては、市民、関係団体、行政との協働事業であり、イベント開催や清掃活動などを支援していく。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (市民、団体等)												

2. 実施結果

事業の 予算・実績			令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業内容		笹目川活用連絡会の支援、荒川クリーンエイド実施					
事業費			0	0	0	0	0	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	0	0	0	
人件費			0	0	0	0	0	
投入 人員	常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費			0	0	0	0	0	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	笹目川及び荒川でのイベント等の開催回数	回	笹目川とことん活用連絡会、荒川クリーンエイド		2	2	-
	活動②					2	0	-
	成果①	笹目川及び荒川でのイベント等の参加者数	人	笹目川とことん活用連絡会、荒川クリーンエイド		1,200	1,300	-
	成果②					1,551	0	-
目標達成 状況 の分析		C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、笹目川秋フェスタや清掃イベントについては開催することができなかったが、笹目川とことん活用連絡会を书面開催により実施し、笹目川の利活用や維持管理に関する意見交換を行った。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	A	A	B	<判断理由> 笹目川とことん活用連絡会については、書面開催を2回実施するなど、笹目川の利活用や維持管理について、意見交換が出来たため、施策の目標達成にある程度貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 笹目川とことん活用連絡会やクリーンエイドの活用については、市民や関係団体と連携しながら取り組んでいるものであり、経費は必要最低限の範囲であることから適正である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 笹目川とことん活用連絡会やクリーンエイドの活用については、市民や関係団体と連携しながら取り組んでいるものであり、連絡会による会議などで方針を決定し、イベントの企画を検討しており、事業手法は適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 笹目川とことん活用連絡会やクリーンエイドの活用については、市民や関係団体と連携しながら取り組んでいるものであり、例年、イベント等の周知に広報等を活用し、一般市民が参加できる点など、受益・負担については適正な範囲である。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input checked="" type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 笹目川とことん活用連絡会においては、舟下りをメインとするイベントや楽しみながら清掃を行うイベントなどを、市民や関係団体と連携しながら企画・準備・開催することができ、笹目川への親しみが少しずつ根付いているところである。また、荒川クリーンエイドも関係団体との共同開催で実施するなど、上記同様に、良好な水辺環境を創出・維持するために、継続的に取り組んでいく必要がある。 なお、当事業は河川の維持管理の一環として、「河川維持管理費」に統合し、事業を推進する。
今後の取組方針	平成29年度から市民や関係団体などと連携し進めてきた笹目川とことん活用連絡会（スタートは準備会）での取り組みは、参加者も増加しており着実に市民に認知されている。今後、市民参加型の新たな企画や団体の参加を目指し取り組み内容を検討していく。 なお、令和3年度から大事業「河川維持管理費」の中事業「21233 河川維持管理費」に統合した。

事務事業名	21234 水路維持管理費													
担当組織	水安全部					河川課					担当	管理担当		
組織コード	R3	91	05	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	03	01	97	98	記入日	令和 3年 6月 7日
	R2	20	09	00		R2	01	08	03	01	05	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	04	緑と潤いのあるまち									○ 対象		
分野	02	公園・水辺									● 対象外		
施策	41	水辺環境の整備											
事業期間	平成17年度～令和2年度												
根拠法令 通達等						関連計画 施政方針	戸田市第2次都市マスタープラン 清流ルネッサンスⅡ(第二期水環境改善緊急行動計画) 戸田市第4次総合振興計画(後期)						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民												
事業目的	市内を流れる水路について、水質改善や水辺環境の保全により、市民が水の恵みを感じながら生活できるような水辺環境を創出し、また、水路の流下機能を確保すると共に、歩行空間としての利用も図られるよう、常に水路を健全な状態に維持することを目的とする。												
事業内容	水質改善の取組みとして、清流ルネッサンスⅡ事業終了時の目標値を目標として、上戸田川浄化施設の利用や汚泥の浚渫を行うほか、定期的な水質調査を実施する。市内の水路については、水路の流下機能を確保すると共に、歩行空間としての利用も図られるよう、定期的な維持管理業務や計画的な修繕を実施し、常に健全な状態とする。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績			令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業内容		新嘗・笹目・ 美女木地区な どにおける水 路維持管理					
	事業費		40,027	0	0	0	0	
	財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	40,027	0	0	0	0	
	人件費		0	0	0	0	0	
	投入 人員	常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人		
事業費+人件費		40,027	0	0	0	0		
目標 達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動 ①	清流ルネッサンスⅡ水質調査	回	年間調査回数	12	12	-	
					12	12	-	
	成果 ①	清流ルネッサンスⅡ水質改善	mg/l	BOD:生物化学的酸素要求 量(沖内第3人道橋)	4	4	-	
					2	1.8	-	
	成果 ②							
目標達成 状況 の分析		A:活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 清流ルネッサンスⅡに基づく水質改善については、水質目標値を達成することができた。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>上戸田浄化施設や荒川からの浄化導水の稼働により、水質改善については目標を達成している。また、水路の維持管理は清掃業務を月に2回実施するなど維持管理をすることで施策の目標達成に貢献している。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>荒川からの浄化導水については、稼働に係る経費（電気代、操作員代等）を荒川下流河川事務所が負担している。水路の管理業務や修繕については、県の設計基準や単価、見積書に基づき適切に積算を実施し業者を決定しており、経費は適正である。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>水路の管理業務や修繕については、専門的な内容が多いため業者に委託しているが、市民サービスの質を低下させることなく、実施できていることから事業手法は適正である。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>水質改善に係る取り組みを継続的に実施しており、水質目標を達成するなど、市民が良好な水辺環境のもと、生活できるようになり、受益・負担は公平である。</p>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input checked="" type="radio"/> 令和2年度で終了
	<p><判断理由></p> <p>水質改善の取り組み効果としては、清流ルネッサンスⅡの水質目標値を達成できているが、この目標の達成のためには、下水道整備や浄化槽の適正な維持管理のほか、水質浄化に係るそれぞれの取り組みが必要である。なお、当事業は河川の維持管理の一環として、「河川維持管理費」に統合し、事業を推進する。</p>
今後の取組方針	<p>市内を流れる笹目川・菖蒲川・上戸田川の更なる水質改善が図られるよう、今後も引続き上戸田川浄化施設や浄化導水を利用し、水質状況の把握に努めていく。また、水辺環境の向上のため、河川敷の雑木の除去や、汚泥の浚渫などを段階的に実施する。</p> <p>なお、令和3年度から大事業「河川維持管理費」の中事業「21233 河川維持管理費」に統合した。</p>